

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナールⅠ		
担当教員	森長 正樹		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 4		
講義室	1402	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3-G 〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4-F 〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4-I 〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5-J 〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 D P 8-M 〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（20％） G 1 状況把握（30％） I 2 量的分析（20％） I 3 情報分析（20％） J 2 創造的思考（5％） M 1 統合的・応用的学修（5％）		
教員の実務経験	オリンピック大会（1992年・2000年）および国際大会に選手として出場した経験と、日本陸上競技連盟の強化コーチとして国際大会に指導者として参加した経験を生かして講義を行います（第2回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナールⅠでは、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は、演習により行います。授業形態は、演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 研究、省察、反省的実践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践 ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループで研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 研究の進め方については個人競技における戦術・戦略についての分析方法やトレーニング計画等についても学習します。		
総合到達目標	■スポーツ科学分野における諸問題を把握し、その問題に対する探求力や分析する能力を修得するために、陸上競技のコーチング研究の進め方について理解する。また、スポーツ科学分野の新たな可能性を探求する能力を養うために、研究計画の立案やゼミナール内での議論を通して研究に対する興味を深め、積極的に向き合う姿勢を身につける。 ・スポーツ科学分野におけるコーチング（陸上競技）に関する研究の位置づけについて説明することができる。（1、2回目） ・自身の興味・関心に基づき文献を収集し、目的に応じた研究手法を選択することができる。（3～10回目） ・研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表準備をすることができる。（7～10回目） ・自身およびグループの研究計画の発表を通して、他者と討議することができる。（11～14回目） ・研究計画を整理し、研究課題の探求に努めることができる。（15回目）		
成績評価方法	■リアクションペーパー（40％）：適用ルーブリック G 1・J 2 （評価の観点）授業内で配布する資料への記入状況によって評価します。 （フィードバックの方法）授業後に回収し、次回授業時に解説をします。 ■プレゼンテーション（60％）：適用ルーブリック F 1・I 2・I 3・J 2・M 1		

	(評価の観点) 自身もしくはグループの研究計画を発表し、その内容について評価を行います。 (フィードバックの方法) 各自の発表後に講評を行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や成績評価について説明し、授業に対する準備を行う (G 1)。 ③予習 シラバスの内容を読み、授業の流れを把握しておく (120分)。 ④復習 再度シラバスをよく読み、次週以降の授業の流れを確認しておく (120分)。
	2	①授業テーマ コーチング学 (陸上競技) の研究とは ②授業概要 研究の意義や領域について確認し、コーチング学の研究における分類について説明することができる (F 1, G 1)。 担当教員の実務経験を踏まえて、トップアスリートを対象とした先行研究などを紹介しながら、講義を行います。 ③予習 コーチング学研究法演習における研究の概要に関する授業資料を再度確認しておく (120分)。 ④復習 授業で得た知識を整理し、自身の課題としたい研究テーマについて考察しておく (120分)。
	3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 興味のある先行研究を検索し、その文献から研究の手法や結果について論議および情報を整理し、説明することができる (F 1, I 3)。 ③予習 興味のあるキーワードや研究方法をいくつか挙げてくる (60分)。 ④復習 検索した文献を確認し、文献から得られた研究の手法や結果について、自身の研究課題に対する研究方法として適しているかどうかを検討しておく (180分)。
	4	①授業テーマ 文献研究② ②授業概要 興味のある先行研究を検索し、その文献から研究の手法や結果について論議および情報を整理し、説明することができる (F 1, I 3)。 ③予習 興味のあるキーワードや研究方法をいくつか挙げてくる (60分)。 ④復習 検索した文献を確認し、文献から得られた研究の手法や結果について、自身の研究課題に対する研究方法として適しているかどうかを検討しておく (180分)。
	5	①授業テーマ 文献研究③ ②授業概要 興味のある先行研究を検索し、その文献から研究の手法や結果について論議および情報を整理し、説明することができる (F 1, G 1)。 ③予習 興味のあるキーワードや研究方法をいくつか挙げてくる (60分)。 ④復習 検索した文献を確認し、文献から得られた研究の手法や結果について自身の研究課題に対する研究方法として適しているかどうかを検討しておく (180分)。
	6	①授業テーマ 文献研究④ ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて論議およびその情報を整理し、説明することができる (F 1, G 1)。 ③予習 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく (120分)。 ④復習 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく (120分)。
	7	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備① ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする (I 2, I 3)。 ③予習 これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく (120分)。 ④復習 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく (120分)。
	8	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備② ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする (I 2, I 3)。 ③予習 これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく (120分)。 ④復習 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく (120分)。
	9	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備③ ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする (I 2・I 3)。 ③予習 これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておくこと (120分)。 ④復習 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておくこと (120分)。
	10	①授業テーマ 研究計画の作成と発表準備④ ②授業概要 文献研究を踏まえ、自身の研究課題に関する研究計画作成のための調査、実験、分析を行い、発表の準備をする (I 2, I 3)。 ③予習 これまでの文献を確認し、研究の手法について整理しておく (120分)。 ④復習 授業内での議論を整理し、自身の研究計画を再度検討しておく (120分)。
	11	①授業テーマ 研究計画発表① ②授業概要 自身もしくはグループの作成した研究計画について、発表を行う (F 1, G 1)。 ③予習 前回までの授業を踏まえ、研究計画発表の準備を行っておく (120分)。 ④復習 自身もしくはグループでの研究計画に対する課題について整理しておく (120分)。
	12	①授業テーマ 研究計画発表② ②授業概要 自身もしくはグループの作成した研究計画について、発表を行う (F 1, G 1)。 ③予習 前回までの授業を踏まえ、研究計画発表の準備を行っておく (120分)。 ④復習 自身もしくはグループでの研究計画に対する課題について整理しておく (120分)。
	13	①授業テーマ 研究計画発表③ ②授業概要 自身もしくはグループの作成した研究計画について、発表を行う (F 1, G 1)。 ③予習 前回までの授業を踏まえ、研究計画発表の準備を行っておく (120分)。 ④復習 自身もしくはグループでの研究計画に対する課題について整理しておく (120分)。

	14 ①授業テーマ 発表会の振り返りと研究計画の再検討 ②授業概要 研究計画発表を経て、他者の意見とのすり合わせを行い、研究計画をより充実した内容にするための議論を行う（I 3,J 2,M1）。 ③予習 議論内容を踏まえ、再度研究計画の修正を行っておく（120分）。 ④復習 プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく（120分）。
	15 ①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理する（I 3,J 2,M1）。 ③予習 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく（120分）。 ④復習 ゼミナールⅡに向けて必要な文献の整理を行っておく（120分）。
関連科目	コーチング学研究法演習(SSCS2317)
教科書	ありません。
参考書・参考URL	ありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	

